

講師紹介

金沢

…ふるさとふれあい講座(金沢会場)

能登

…ふるさとふれあい講座(能登会場)

加賀

…ふるさとふれあい講座(加賀会場)

現地

…ふるさとふれあい現地講座

中宮 紀伊子 氏

金沢

株式会社森八 取締役女将

岩手県一関市生まれ。東京育ち。森八 18代当主 中宮 嘉裕氏(現社長)と結婚し金沢へ。1995年の森八和議申請と同時に取締役になり、夫とともに再建に着手。2004年に再建を完了。著書に「あなた、私も闘います」(叢文社)、「この人生をありがとう」(時鐘舎)など。

山崎 隆 氏

金沢

株式会社山崎麻織物工房 代表取締役

羽咋市出身。石川県指定無形文化財・能登上布 4代目織元。大学卒業後、20年間機械メーカーで制御設計に従事。2004年から、1891(明治24)年創業の山新・現山崎麻織物工房を継ぎ、現在唯一の織元として能登上布の継承と発展の為に日々活動。

若宮 隆志 氏

金沢

輪島漆再生プロジェクト実行委員会代表

1964年輪島市生まれ。漆芸家として作品発表を行う傍ら、塗師や蒔絵師にとどまらず、伝統を継承しつつ新たな作品を生み出す職人団体「彦十蒔絵」のプロデューサーとしても活動。国内外で展示会を多数開催。2014年、「国際漆展・石川2014」大賞受賞。

丸谷 誠慶 氏

金沢

株式会社丸八製茶場 代表取締役

加賀市生まれ。1863(文久3)年創業の加賀で一番茶の特徴を活かした棒茶を製造・販売する丸八製茶場6代目。「日本の若者にもっとお茶のある生活を」とさまざまな形でお茶の魅力を伝える。老舗蔵元や生産者の跡取りたちによるユニット『HANDRED』のメンバー。

福島 武山 氏

金沢

九谷焼絵付師

石川県生まれ。県立工デザイン科卒。義母の影響から、独学で技術を学び、赤絵細描一筋に打ち込む。第23回全国伝統的工芸品公募展での内閣総理大臣賞受賞など多数の受賞歴あり。仏エルメス社からの腕時計文字盤の製作依頼を受けるなど、国際的にも活躍。

鶴賀 雄子 氏

金沢

金沢市(第一号認定)加賀友禅プロモーションマネージャー

金沢市出身。1973年に株式会社きものやまとに入社。着物コンサルタントとして活躍。日本初の「レンタル着物」を考案し、加賀友禅きものスタイリスト(加賀染振興協会第一号認定)となる。現在、加賀友禅大使等と加賀友禅の魅力を発信中。石川県観光特使。(株)シンクラン顧問、金沢経済同友会幹事。

松田 恒治 氏

金沢

刀工(刀匠)

石川県内唯一の現役刀工。高浜原子力発電所で運転員として6年間勤務後、青年海外協力隊に参加、セネガル共和国に2年間派遣される。帰国後、山形市在住の刀工・上林恒平氏の下で5年余り修業し、1997(平成9)年に独立開業、現在に至る。

河田 康雄 氏

金沢

金澤 せつ理 オーナーシェフ

1966年石川県生まれ。1999年につる幸の料理長に就任。人気ドキュメンタリー「情熱大陸」(2016)での特集やミシュランガイド石川での2つ星獲得で、全国から注目される。昨年11月に50年以上の歴史を持つ名店「懐石つる幸」を閉店し、新たに「金澤 せつ理」を開店。

瀬戸 薫 氏

金沢

能登

かほく市文化財保護審議会委員

國學院大學大学院文学研究科修士課程修了後、神奈川県と石川県で県立高校教諭として教鞭をとる。石川県立図書館で『加能史料』編纂に従事した後、富山高等専門学校教授。退職後は、再び県立図書館で『加能史料』の編纂に携わる。

講師紹介

小林 忠雄 氏

金沢 能登

石川県文化財保護審議会委員(民俗部会長)

白山市出身。早稲田大学文学部卒、同大学院文学研究科芸術学専攻特殊学生終了。専門は、民俗芸術学・都市民俗学。言い伝え、風習、無形文化財等に詳しい。国立歴史民俗博物館民俗研究部助教授、東京家政学院大学教授、北陸大学教授を歴任。

谷川 貴昭 氏

能登

谷川醸造株式会社 代表取締役

1977年輪島市出身。大学卒業後、2年間兵庫県の醤油メーカーで勤務したのち、帰郷。昔ながらの製法と地元産原材料にこだわった商品開発を展開。地元の子供達への醤油・味噌づくり体験の実施、発酵食品イベントへの参加など、糀の魅力発信にも尽力。

山根 公 氏

加賀

俳誌「風港」客員同人

白山市出身。金沢大学法文学部専攻科(現大学院)修了。専門は俳諧史(特に加能俳諧師に詳しい)。著書に「千代女季の句」「加賀の芭蕉」他。今秋「加賀の千代全句集」刊行予定。俳文学会員。県観光スペシャルガイド。「加賀路の芭蕉」で県教育工学研究会会長賞。

荒木 敏明 氏

加賀

株式会社あら与 代表取締役

福井県越前市出身。江戸時代から続く石川県の伝統食「ふぐの卵巣の糠漬け」をつくる老舗「あら与」七代目店主。商品製造だけでなく、北前船がもたらした食文化や発酵食などについての講演多数。

東四柳 史明 氏

加賀 現地

金沢学院大学 名誉教授

穴水町出身。國學院大學大学院博士課程。専門は日本中世史、北陸地域史、神社史。『加能史料』編纂に携わる。2015年度で金沢学院大学教授退職後、現職。石川県立図書館史料編纂室室長。著書に『石川県の歴史』(山川出版社)他。

木越 祐馨 氏

現地

加能地域史研究会 代表

輪島市生まれ。石川県立図書館史料編纂室課主査などを経て輪島市・七尾市文化財 保護審議会委員・加能史料編纂委員。『能登のくに』(北國新聞社)、『ふるさと石川』・『金沢御堂・金沢城調査報告書Ⅰ』(共に県教育委員会)、『図説金沢の歴史』(金沢市)等執筆多数。

見附 裕史 氏

現地

全国北前船研究会 副会長

法政大学卒業後、加賀市教育委員会に勤務。この間、学芸員として北前船の里資料館の建設を担当。その後、加賀市地域振興部部長、加賀商工会議所専務理事を歴任。1984年から約30年にわたって、「全国北前船フェス」を開催。加賀市文化財保護審議会委員。

柳澤 良一 氏

現地

金沢学院大学 特任教授

長野県出身。金沢大学大学院文学研究科修了。2001年文学部部長・教育研究所所長を歴任の後、2008年大学院人文学研究科長に就任。専門は日本文学和漢比較文学。著書に金沢学院大学共著「おくのほそ道～芭蕉が歩いた北陸～」他。

秋山 稔 氏

現地

金沢学院大学学長・泉鏡花記念館館長

千葉県館山市生まれ。慶応大学文学部卒、同大学院修了。1988(昭和63)年から金沢女子大学(現・金沢学院大)講師となり、文学部教授、文学部長などを経て、2013年から学長、2017年から理事長。専門は日本文学、博士(文学)。著書に、『泉鏡花 転成する物語』(2014、梧桐書院)など多数。

藤島 秀隆 氏

現地

前金沢能楽美術館館長

1935(昭和10)年、東京都千代田区生まれ。國學院大學大学院文学研究科修士課程修了。石川の民俗・学芸、加賀藩の能楽に精通。専門は中世日本文学、加賀藩の伝承文芸。加能民俗の会名誉会長、石川県観光スペシャルガイドなど多方面で活躍。